

老人クラブ会員の方へ

平成26年1月

発行 広島県警察本部
交通部交通企画課

新年明けましておめでとうございます。

皆様方には、清々しい新年をお迎えのことと、お慶び申し上げます。

昨年、県警察では、交通事故を1件でもなくしていこうと各種交通事故防止活動に取り組んで参りましたが、残念ながら、多くの高齢者の方の尊い命が交通事故により失われてしまいました。

高齢者の交通事故を防止するためには、高齢者の皆様方一人一人に安全行動をとっていただくことが必要不可欠です。

皆様方が交通事故に遭われないよう、役に立つ交通安全情報を、本年も提供していきたいと考えておりますので、皆様方におかれましても、交通安全行動に努められ、交通事故に遭うことのない良いお年をお過ごしください。

歩行中の交通事故多発！

歩行中の高齢死者の特徴

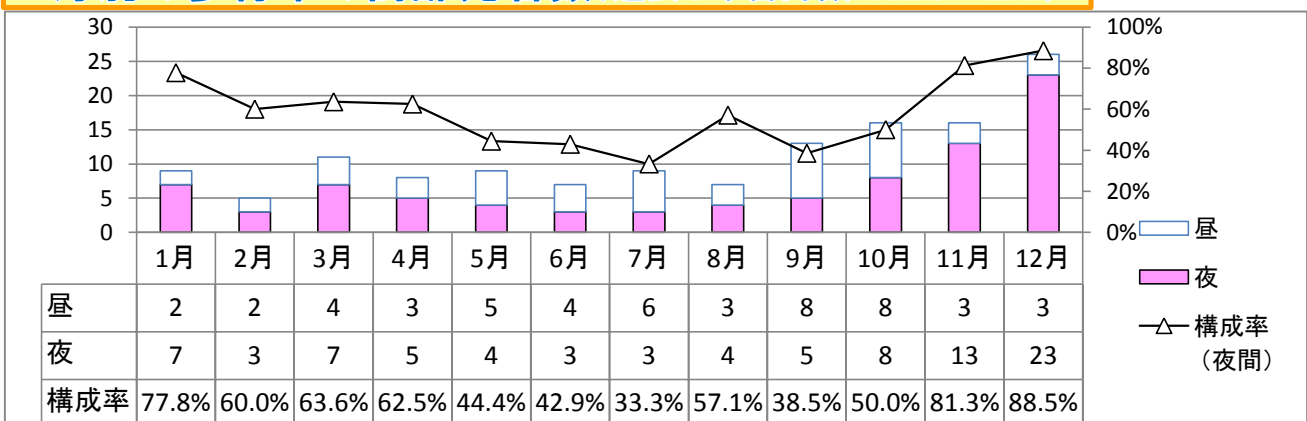
(平成25年11月末データ)



歩行中の高齢死者23人中

- 15人が横断中で、うち横断歩道でない場所での横断が12人
- 13人が夜間で、全員反射材用品等の活用なし
- 17人が自宅付近(500m以内)
- 16人にも原因あり(車の直前・直後横断が7人と最も多い)

月別の歩行中の高齢死者数(過去5年合計数・H20~24)



気をつけるポイント

- 道路を横断するときは、確実に左右の安全を確認し、無理な横断はしない。
- 遠回りでも横断歩道・信号機があるところを渡る。
- 夜間は反射材・LEDライトを活用する。
- 近所の通りなれた道でも、油断することなく、周囲に気を配る。